

### 「東川の雪像」

この写真は東川の氷祭りで撮りました。たくさん雪像や氷像が作られて、写真の私の隣は、「寝ているカビゴン」という、私と友達と一緒に作ったポケモンの雪像です。今回初めて雪像の活動に参加しました。作った時に、雪が降っていたし風も強かったし、とても疲れましたけど、いい経験になりました。

Photo by オム

### みなさまからの写真を随時募集中です！

- ✓年齢・経験などは問いません！
- ✓写真は、東川町内で撮影されたものなら何でもOK！（景色・人・食など）
- ✓撮影機材は何でもOK！（スマホでも）
- ✓タイトル、お名前（ペンネーム可）、コメント（140字以内）を添えてメールよりご応募をお願いします。

みなさまの素敵なお写真に出会えることを心待ちにしております♪

ご応募はコチラから！



e-mail : shutter\_higashikawa@gmail.com



### 東川町オフィシャルレポーター「中川梨花」の活動記録

1月は『ひがしかわ氷祭り』に参加しました！冬の夜空に咲く花火はとても美しく、また、町民の皆様が作られた迫力満点の雪像はどれもユニークで見ていてとても楽しい気持ちになりました。まだ油断はできませんが、しっかりと日々の感染対策を行いながら、東川に楽しいイベントが戻ってくる日を楽しみに過ごしたいと思います。

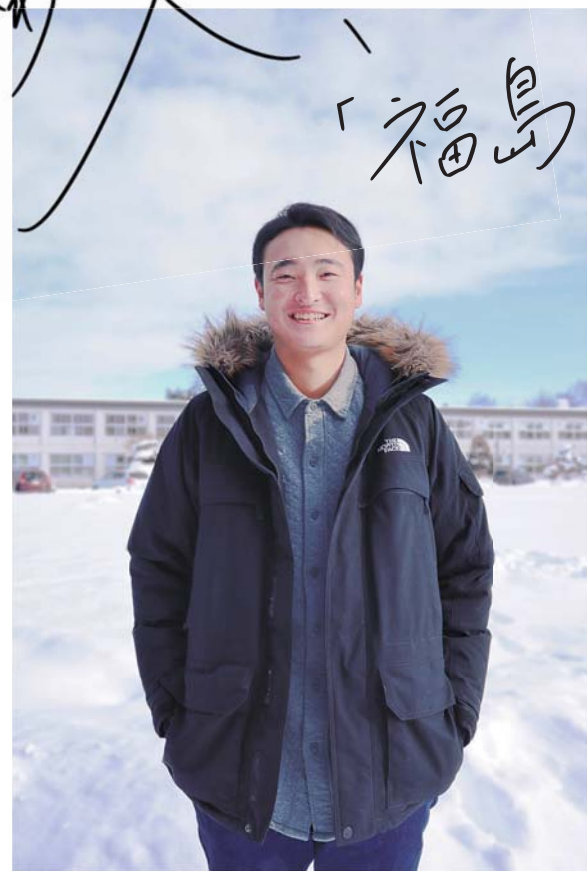
自分の使命と向き合い、東川に貢献しようとする人がいる。東川大学を卒業後、8月に初めに立川を訪れ移住を決断した。東川5歳からテニスを始め、高校時代に世界大会の日本代表に選ばれた経歴を持つ福島晴さん。大学では環境に慣れず距離感から、数ヶ月でテニスから離れた。

### 自分の「使命」を。

東川町オフィシャルレポーター中川梨花による連載「ひがしかわな人、」。第5回目にご紹介するのは、2020年春に大学を卒業し、同年秋に東川に移住した福島晴さん。町内で様々な事業を行う福島さんに、胸のうちをお聴きした。



### 東川のために



### 自分の経験を

置くこととなった。このとき初めて「自分は何をして生きていくのか」悩んだという。そんなときに偶然目にした海外のインターン生募集のポスターを見た。半年間の海外インターンで感じたのは、自分と同じ悩みを抱える人は多くいるということ。そして、そんな人がビジネスを見つけれられるような機会を提供することが、自分が心からやりたいことなのだということ。帰国後には、大学在学中でありながらも海外留学を希望する人を繋ぐ会社を自ら起業したが、コロナ禍で海外事業が難しくなり、「自然探究型の自分探し」へ事業転換を決めた。その後、知人からの誘いで東川を訪れた福島さんは、東川の自然の中で自分と向き合うと真にやりたいことが見えてくるのではな